

果樹生育情報 8月号

令和6年8月16日

栗原農業改良普及センター

〈りんごの生育状況等〉

表1 生育状況(8月9日調査)

		金成小堤	金成末野	高清水福塚
タテ径	本年(mm)	61.0	65.8	60.8
	平年(mm)	59.6	62.2	60.3
	平年比(%)	102.3	105.8	100.8
ヨコ径	本年(mm)	70.2	74.0	67.8
	平年(mm)	67.2	69.8	66.2
	平年比(%)	104.5	106.0	102.4

8月9日現在のりんご(ふじ)の果実肥大は、102~106%(ヨコ径)と平年をやや上回っている状況です。

〈病害虫発生状況等〉

表2 宮城県病害虫防除所発生予報第8号(令和6年8月5日発表)

病害虫名	発生量	予報の根拠
斑点落葉病	やや多い	(1)巡回調査の結果、徒長枝及び新梢における発生地点率は平年より高かった(/ +)。発病葉率は、徒長枝ではやや低く新梢で平年並であった(/ - ~ ±)。発病果は平年と同様にみられなかった。(/ ±) (2)高温多湿が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高く(/ +)、降水量はほぼ平年並と予報されている。(/ ±)
ハダニ類	平年並み	(1)巡回調査の結果、発生地点率及び1葉当たりの寄生頭数はやや低かった。(/ - ~ ±) (2)高温乾燥が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高く(/ +)、降水量はほぼ平年並と予報されている。(/ ±)
キンモンホソガ	平年並み	(1)巡回調査の結果、発生地点率は平年より高かったが、被害葉率は平年並であった。(/ ± ~ +) (2)20~25℃の気温が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高いと予報されている。(/ - ~ ±)
果樹カメムシ類	多い	果樹カメムシ注意報が出ています。 (1)巡回調査の結果、発生地点率は平年並み、被害果率は平年より高かった。(/ ± ~ +) (2)高温が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高いと予報されている。(/ +)

〈天候予報〉

8月1日に東北南部の梅雨明けが発表されました。仙台管区气象台による向こう1か月(8月17日から9月16日)の天候予報によると、『期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。なお、暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性があります。また、太平洋高気圧に覆われやすいため、向こう1か月の日照時間は平年並か多いでしょう。台風7号の影響で向こう1か月の降水量は平年並か多いでしょう。』との予報が出ています。

台風の影響については、台風通過後に安全対策の上、園地の状況をよく確認し必要な栽培管理を行いましょ。

〈防除のポイント〉

- (1) 一部園地で褐斑病や斑点落葉病、ハダニ類の発生が見られました。ほ場をよく見回り病害虫の発生状況を確認して、適切な防除に努めましょ。
- (2) スピードスプレーヤの防除では低速による全列走行とし、薬液のかかりにくい部分は、病害虫の発生源になりやすいことから補完散布するとともに、不要な徒長枝を整理ましょ。
- (3) ハダニ類は、ほ場をよく見回り、1葉当たり3頭以上寄生している場合は防除を実施ましょ。また、発生状況をよく確認して薬剤を選定し、散布後の状況もよく観察ましょ。
- (4) 果樹カメムシ類は、注意報が発表され、ほ場への飛来が多くなると予想されていますので、ほ場をこまめに見回り、成虫がみられた場合は速やかに薬剤防除を行いましょ。
- (5) 散布予定日に降雨が予想される場合は、散布を前倒しして降雨前に防除ましょ。また、降雨が続く場合は、散布間隔があかないよう晴れ間をぬって防除を実施ましょ。

農作業中の熱中症を予防ましょ

- 1 暑さを避けましょ
- 2 こまめな休憩と水分補給をましょ
- 3 単独作業は避けましょ
- 4 熱中症対策アイテム(帽子、冷却剤など)を活用ましょ